

都立美原高等学校グランドデザイン

「自律共生」という教育理念のもとに新しい社会を生き抜く生徒を育てる。

● 学校の現状

- 生徒の進路実現のための生徒個々の基礎学力を客観的に把握できていない。
- 入学時から進路実現に向けた系統的な指導体制が構築できていない。
- 各教科の基礎・基本の確実な定着に向けて教職員間での協議が不十分。

◇ 目指すべき生徒像

- グローバル化が進む中で、社会で活躍できる能力を備えた生徒
- 異なる文化を持つ人々と理解しあい、積極的に社会の役割を遂行できる柔軟性を備えた生徒
- 予測できない未来に対して、問題解決に向けて自らの力を最大限発揮できる熱意を備えた生徒

1 基礎学力の定着

- ① 確かな学力を伸ばす取組
 - ・ 学習支援クラウドサービスの活用促進
 - ・ オンラインによる学習支援の充実
 - ・ 年2回授業研究週間と相互授業観察
 - ◎ 教科主任会議で検討 研修の実施
- ② 資格取得の奨励
 - ・ 漢字検定や英語検定等の取得を推進
- ③ 教科会の活性化と研究授業の充実
 - ・ CYODやICTを活用した授業研究
 - ・ 協働学習による深い学びの実践
 - ・ 教科横断的な取組の実践研究
 - ◎ 学力向上推進委員会と連携

2 系統的なキャリア教育の実践

- ① 総合的な探究の時間の活性化
 - ・ 外部機関と連携したキャリア教育の推進
 - ・ 上級学校説明会開催と進路実現の動機付け
 - ・ 進路実現に向けて必要な知識・技能の把握
 - ・ 適性検査の分析と職業観の育成
 - ・ 総合型選抜による4年制大学進学への指導体制
 - ・ 4年制大学指定校を120校250学部確保
 - ・ 看護・保育系上級学校合格者を年15名以上
- ② 3年次生による合格体験発表会
 - ・ 下級生に受験の成功体験を伝達
- ③ 1年次勉強合宿
 - ・ 学習方法や学習に対する姿勢を養う
- ④ 履修登録ガイダンスの実施
 - ・ 進路実現に向けた科目選択能力の醸成
 - ◎ 「人間と社会」推進委員会を中心に構築

★ 育成すべき資質・能力

- ◆ 知識・技能の基礎基本
 - ・ 学習内容を理解することができる
 - ・ 学習内容を理解し、学んだことを活用することができる
- ◆ 思考力・判断力・表現力の育成
 - ・ 課題に対して工夫して解決策を思考することができる
 - ・ 資料を的確に読み取り、事実に基づき判断できる
 - ・ 自らの体験や学びをわかりやすく表現することができる
- ◆ 学びに向かう力、人間力等
 - ・ 積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度
 - ・ 課題を発見し、自ら解決しようとする力
 - ・ 情報活用能力を身に付け、自分の考えを伝えようとする資質

3 地域と連携した取組

- ① ボランティアなど地域貢献活動の推進
 - ・ 生徒会主催の地域清掃活動
 - ・ 災害時の避難所運営等で地域と連携
 - ・ 防災教育推進委員会と連携
- ② 学校の教育活動を地域社会へ発信
 - ・ ホームページや掲示ボードに掲載して発信
 - ・ 地域の中学校や学習塾に教育活動を発信
- ③ 学校評価を活用した教育活動の改善
 - ・ 学校運営連絡協議会と連携